

第65回人権週間行事

# トーク&パフォーマンスと 映画の集い

**入場無料**

**定員750名**

(事前申込不要・当日先着順)

## みんなで築こう 人権の世紀

～考えよう 相手の気持ち 育てよう 思いやりの心～

### トーク&パフォーマンス 「いのちみつめて うたをこぼせ」

～伝統芸能「猿まわし」復活の物語～

**出演**

村崎 修二 氏(猿舞座主宰)

村崎 耕平 氏(猿舞座)、夏水 君(ニホンザル)

上島 敏昭 氏(浅草雑芸団代表)

かつて被差別部落の人々により発展・継承されてきた芸能「猿まわし」の復活の経緯や、同和問題をはじめとする人権問題について、ギターによる弾き語りでお話します。

また、伝統的な「本仕込み」による感動的な猿まわしを披露します。

手話通訳・パソコン要約筆記を実施



### 映画上映 「家庭の中の人権 生まれ来る子へ」

(2013年/日本)



©2013東映株式会社

「イクメンは変ですか」「よかれと思って」「親の介護をするのは誰」「愛情とは支配すること？」—ある祖父母と孫夫婦の会話を通して、私たちの身の回り  
の人権問題を描きます。

文部科学省選定

日本語字幕付きで上映

### 資料・パネル展

「読む人権  
じんけんのほん」

平成25年 **12月10日(火)**

13時30分～16時15分 開場13時

### タワーホール船堀 大ホール

東京都江戸川区船堀四丁目1番1号

**交通**

- ◆都営地下鉄新宿線「船堀駅」より徒歩約1分
- ◆新小岩駅より都営バス「新小21系統 西葛西駅前行き」にて「船堀駅前」下車、徒歩約1分
- ◆西葛西駅より都営バス「新小21系統 新小岩駅前行き」にて「船堀駅前」下車、徒歩約1分

- ◆葛西駅より都営バス「錦25系統 錦糸町駅前行き」又は「葛西24系統 船堀駅前行き」にて「船堀駅前」下車、徒歩約1分



託児室あり(1才以上未就学児、要予約)



手話通訳あり



要約筆記あり

託児室を利用ご希望の方は**11月28日(木)17時**までに、東京都総務局人権部 ☎03-5388-2588 までご連絡ください。

**主催** 東京都人権啓発活動ネットワーク協議会(東京都・東京法務局・東京都人権擁護委員連合会・公益財団法人人権擁護協力会)、江戸川区  
**協賛** 公益財団法人東京都人権啓発センター

**【お問い合わせ】**  
東京都総務局人権部  
東京法務局人権擁護部  
江戸川区総務部総務課

☎ 03-5388-2588  
☎ 03-5213-1365  
☎ 03-5662-6264



# 12月10日は「人権デー」、 12月4日から10日までは「人権週間」です。

「世界人権宣言」が昭和23年(1948年)12月10日に国連総会において採択されてから、  
本年で65周年を迎えます。

人権週間にちなみ、人権に関する正しい理解と認識を深めるとともに人権意識を高めることができるよう、  
「トーク&パフォーマンスと映画の集い」を開催します。皆様お誘いあわせのうえ、ぜひご来場ください。



むらさき しゅうじ  
**村崎 修二 氏** (猿舞座主宰、猿まわし芸人)

1947年山口県光市生まれ。

ほぼ絶滅しかけていた芸能・猿まわしの復活・伝承運動の中心的な一人として、約30年前から活動。  
1982年から山口県周東町を拠点に「猿舞座」を主宰し、伝統的な「本仕込み」(無理に調教するのではなく、猿と仲間の関係になって芸を行わせる手法)による猿の演芸を日本各地で披露している。同時に人権  
やいのちの大切さを訴える講演も行っている。

むらさき こうへい  
**村崎 耕平 氏** (猿舞座、猿まわし芸人)

1977年山口県光市生まれ。父は猿舞座主宰の村崎修二。

2000年劇団「東京乾電池」14期研究生。以後俳優・脚本家として活動。2005年から猿舞座  
に参加、猿まわし芸人の道に進む。2006年からニホンザルの夏水君とコンビを結成。

かみじま としあき  
**上島 敏昭 氏** (浅草雑芸団代表、大道芸人)

なつ み  
**夏水 君** (ニホンザル) 京都嵐山生まれ。9歳のオス。



**演題** 「いのちみつめて うたをこぼせ」(90分)

手話通訳・パソコン要約筆記を実施



©2013東映株式会社

**家庭の中の人権 生まれ来る子へ** (2013年/25分)  
(ストーリー) 文部科学省選定

三田村敬は妻の菜緒と祖父母の家を訪ねる。今日は祖母・晴子の誕生日。菜緒のバッグには  
「おなかに赤ちゃんがいます」マークがついている。車椅子生活になった晴子に代わり、主夫と  
して家事をする祖父・幸造の変化に驚く。晴子は、菜緒が出産後も仕事を続けることを知り、  
敬に「育児休暇は取るの?」と尋ねる…。

【企画・制作】東映株式会社教育映像部

日本語字幕付きで上映

## 「第65回人権週間」強調事項

- 女性の人権を守ろう
- 子どもの人権を守ろう
- 高齢者を大切にすることを育てよう
- 障害のある人の自立と社会参加を進めよう
- 同和問題に関する偏見や差別をなくそう
- アイヌの人々に対する理解を深めよう
- 外国人の人権を尊重しよう
- HIV感染者やハンセン病患者等に対する偏見をなくそう
- 刑を終えて出所した人に対する偏見をなくそう
- 犯罪被害者とその家族の人権に配慮しよう
- インターネットを悪用した人権侵害をなくそう
- 北朝鮮当局による人権侵害問題に対する認識を深めよう
- ホームレスに対する偏見をなくそう
- 性的指向を理由とする差別をなくそう
- 性同一性障害を理由とする差別をなくそう
- 人身取引をなくそう
- 東日本大震災に起因する人権問題に取り組もう